神戸新聞 2018年12月04日 火曜日 面名 経済 １４ 9ページ

コンビニ 野菜調達に独自網

セブンは新工場、ローソン農場設立

セブン―イレブン・ジャパンなどが公開したレタスの野菜工場＝相模原市

セブン―イレブン・ジャパンは、東京都や神奈川県の店舗で販売するサラダ用の野菜を作る専用工場を来年1月に稼働させる。天候不順によって野菜の価格や品質が変動するリスクを抑えるため、大手コンビニは野菜の安定調達に取り組んでいる。

セブン―イレブンは11月28日、工場を報道陣に公開した。同社向けに総菜などを供給するプライムデリカ（相模原市）が自社の敷地内に約60億円をかけて建設。延べ床面積は約7800平方㍍でリーフレタスを作る。工場がフル稼働すると1日当たりサラダ約7万食分（約3㌧）を生産する。

天候不順でも価格、品質が安定

露地栽培では通常、70日ほどで収穫するが、工場では38日で可能。野菜が成長するのに合わせて棚を上下に移動させ、光や野菜の間隔を調整する。紫の光を当て、ビタミンCの生成を促すなどの工夫もしている。

他の大手コンビニも、野菜の安定供給に力を入れている。ファミリーマートでは、2015年から契約工場で生産したフリルレタスやグリーンリーフを使ったサンドイッチを関東や関西の店舗で販売している。

ローソンは10年から農家と協力して「ローソンファーム」を各地で設立し、季節ごとにニンジンやタマネギなどの野菜や果物を栽培。鳥取県ではダイコンを栽培し、コンビニのおでんに加工している。

大手コンビニの野菜生産の取り組み

セブン―イレブン・ジャパン	レタスを作る専用の野菜工場を相模原市で来年稼働予定
ファミリーマート	植物工場で生産した野菜を使ったサンドイッチを関東や関西の店舗で販売
ローソン	ローソンファームで野菜や果物栽培。おでん用のダイコンの生産加工も

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

名前【　　】

① 大手コンビニが野菜の安定調達に取り組む理由はなんでしょうか。

（　　）

② セブン―イレブンに惣菜などを供給するプライムデリカが相模原市の自社敷地内に建設した工場で生産する野菜は次の内どれでしょうか。

（　　）

㋐ キュウリ　㋑ ニンジン　㋒ リーフレタス　㋓ ダイコン

③ 野菜をつくる専用工場では露地栽培と比べてどんな工夫をしていると言っていますか。

（　　）

④ この記事を読んだ感想を書きましょう。